

河川の洪水

大雨により河川では洪水がおり、川の水が溢れ、住宅や道路で浸水被害が発生します。河川では、堤防が壊れたり、水が溢れたときにははん濫区域を示した浸水想定区域図⁽¹⁾が作成され、住民の安全な避難のために公表しています。

また、最近では、ごく狭い地域で短時間に豪雨が降ることや、



都市化が進みアスファルトやコンクリートで覆われた地域が増えているため、一度に雨水が川や低い土地に集まり、浸水被害が起こりやすくなっています。



キーワード[浸水想定区域]

河川がはん濫した場合に、「どこが浸水するか」「どのくらいの深さまで浸水するか」を地図で示したものの。ハザードマップやホームページでも調べられます。

ホームページ

京都府管理河川 <http://www.pref.kyoto.jp/kasen/1170048959713.html>

宇治川、桂川、木津川、淀川 <http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/safe/inundation/index.html>

由良川 <http://www.kkr.mlit.go.jp/fukuchiyama/bousai/shinsui/index.html>

大手川のはん濫と改修工事

台風第23号では、宮津市の市街地を流れる大手川がはん濫し、宮津市役所や宮津小学校が腰の高さまで水に浸かるなど、約2,500戸が浸水しました。



なぜこんなに浸水したのか

大手川では川幅が狭かったこと、予測もできないほどの大雨が降ったことなどが重なり、川に流れ込む大雨を流しきれず、浸水範囲が大きくなりました。

DVD本編では

大手川のはん濫の様子や大手川の工事について学びます。

- ・大手川がはん濫して町中が浸水
- ・河川の改修で川の洪水を防ぐ



改修工事

このような災害を防ぐため、川幅を広げ、川底を掘り下げて、台風第23号と同じぐらいの洪水でも安全に流せるように改修しています。

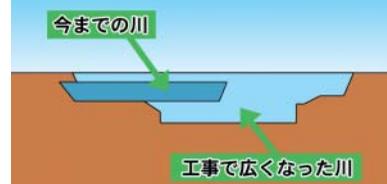


大手川の改修工事

大手川河川激甚災害対策特別緊急事業

事業費 約128億円
工事区間 約5km

大手川の工事イメージ図



川幅を広げ、川底を掘り下げることで、約4倍の水が流れるようにしている。